

第5章 課題の整理

5-1 JRとの接続状況

(1) 美幌循環線とJRの接続状況

表 美幌循環線とJRの接続状況

(令和3年4月現在)

バスの駅到着時刻	JR北見行	JR網走行	バスの駅出発時刻	備考
		7時20分	※7時35分(左) 7時40分(右)	北見から通 学生あり
	8時6分 特急 8時32分	8時32分	9時00分(右) 9時00分(左)	女満別から 通学生あり
8時44分(左) 8時45分(右)	9時17分 特急 8時32分	8時32分	9時00分(右) 9時00分(左)	
			10時10分(右) 10時15分(左)	
9時57分(右) 10時5分 (左)	10時52分	10時52分	11時25分(右) 11時35分(左)	
11時15分(右) 11時20分(左)		特急 11時51分	13時25分(右) 13時30分(左)	
12時30分(右) 12時40分(左)	12時34分 特急 13時2分	14時16分	14時35分(右) 14時55分(左)	
14時22分(右) 14時35分(左)	15時5分	15時33分	15時45分(右) → 高校三期休み 16時00分(左) 15時56分	
15時40分(右) 15時52分(左)		特急 16時8分		
※16時53分(右) 16時57分(左)	16時52分 特急 17時51分	16時52分		17時11分 津別行バス
	18時16分	18時16分		
		19時38分		
	20時22分	特急 20時22分 20時48分		
		22時12分 特急 22時32分		

※印は、美幌高校に停車する循環バス（登下校各1便）

注）「バスの駅到着時刻」は、市街地を運行して終点の美幌駅に到着する時刻、「バスの駅出発時刻」は、美幌駅を出発して、市街地へ運行する時刻です。

第5章 課題の整理

(2) 乗降調査

令和2年7月3日にJ R美幌駅において、乗降者数の調査を行いました。

なお、9時以降、16時までは高校の授業時間帯のため、調査を省略しています。

表 乗降調査結果

J R 北見行		J R 網走行		接続バス 出発時間※
到着時間	乗降者数	到着時間	乗降者数	
		7 時 20 分	乗車 26 人 下車 11 人	7 時 35 分(左) 7 時 40 分(右)
8 時 6 分	乗車 8 人 下車 1 人			9 時 00 分(右) 9 時 00 分(左)
中 略				
12 時 34 分 特急		14 時 16 分		14 時 35 分(右) 14 時 55 分(左)
15 時 5 分		15 時 33 分		15 時 45 分(右) 16 時 00 分(左)
		特急 16 時 8 分	乗車 0 人 下車 0 人	以降、駅前バス ターミナルから接 続する美幌循環線 は運行していませ ん
		16 時 41 分	乗車 4 人 下車 34 人	
17 時 8 分	乗車 11 人 下車 5 人			
18 時 16 分	乗車 4 人 下車 7 人	18 時 16 分	乗車 1 人 下車 50 人	
		19 時 38 分	乗車 1 人 下車 85 人	
20 時 22 分	乗車 13 人 下車 3 人	特急 20 時 22 分	乗車 0 人 下車 3 人	
		20 時 48 分	乗車 0 人 下車 26 人	
		22 時 12 分	乗車 0 人 下車 11 人	

※ 接続バス出発時間は、美幌循環線を表示しています。

(3) 美幌高校への通学環境

美幌高校へ通学するバスの運行状況及びＪＲとの接続状況は次のとおりです。

【美幌高校の登下校について】

表 バスの運行状況及びＪＲとの接続状況

(令和3年4月現在)

市街地	登校	美幌循環線	7:35 美幌駅発	8:18 美幌高校着
	下校	美幌循環線	16:08 美幌高校発	16:57 美幌駅着
津別方面	登校	津別・美幌線	8:03 美幌駅着(乗り換え)	
		美幌高校線	8:08 美幌駅発	8:25 美幌高校着
	下校	美幌高校線	16:25 美幌高校発	16:42 美幌駅着(乗り換え)
		美幌・津別線	17:11 美幌駅発	
女満別・網走方面	登校	ＪＲ普通列車	8:06 美幌駅着(乗り換え)	
		美幌高校線	8:08 美幌駅発	8:25 美幌高校着
	下校	美幌高校線	16:25 美幌高校発	16:42 美幌駅着(乗り換え)
		ＪＲ普通列車	16:52 美幌駅発	
北見方面	登校	ＪＲ普通列車	7:20 美幌駅着(乗り換え)	
		美幌循環線	7:35 美幌駅発	8:18 美幌高校着
	下校	美幌高校線	16:25 美幌高校発	16:42 美幌駅着(乗り換え)
		ＪＲ普通列車	16:52 美幌駅発	

5-2 バス乗降調査

令和2年9月30日（水）、同年10月6日（火）に美幌循環線（右回り、左回り）のバス停留所ごとの乗降調査をそれぞれ実施しました。

(1) 乗降者数

①美幌循環線（左回り）

調査日：令和2年9月30日（水）

天 候：曇り（第2便以降 晴れ）

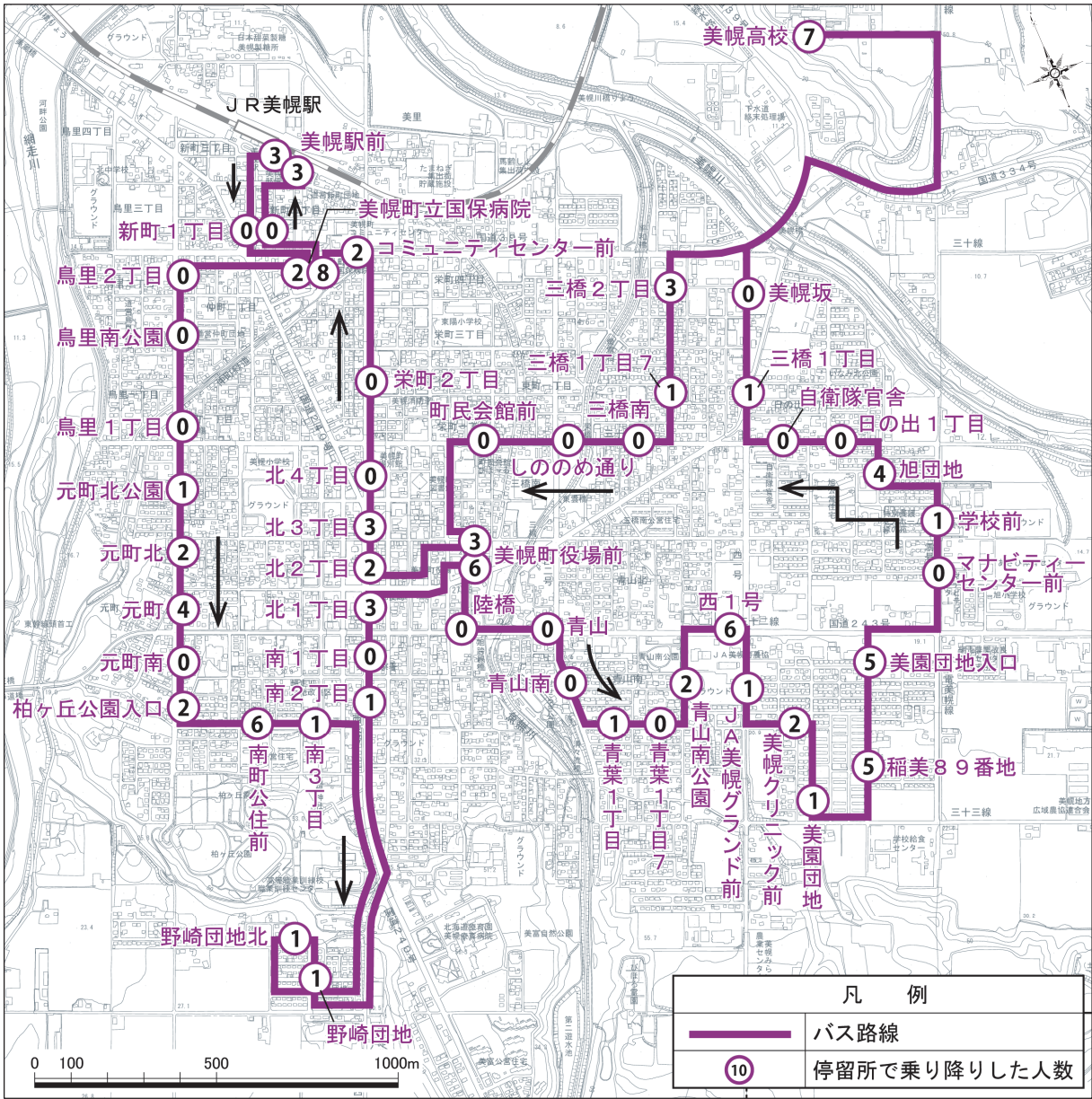


図 美幌循環線バス乗降調査（左回り）（乗降者数）（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第1便（8:18）のみ

②美幌循環線（右回り）

調査日：令和2年10月6日（火）

天 候：晴れ（第6便以降 曇り）

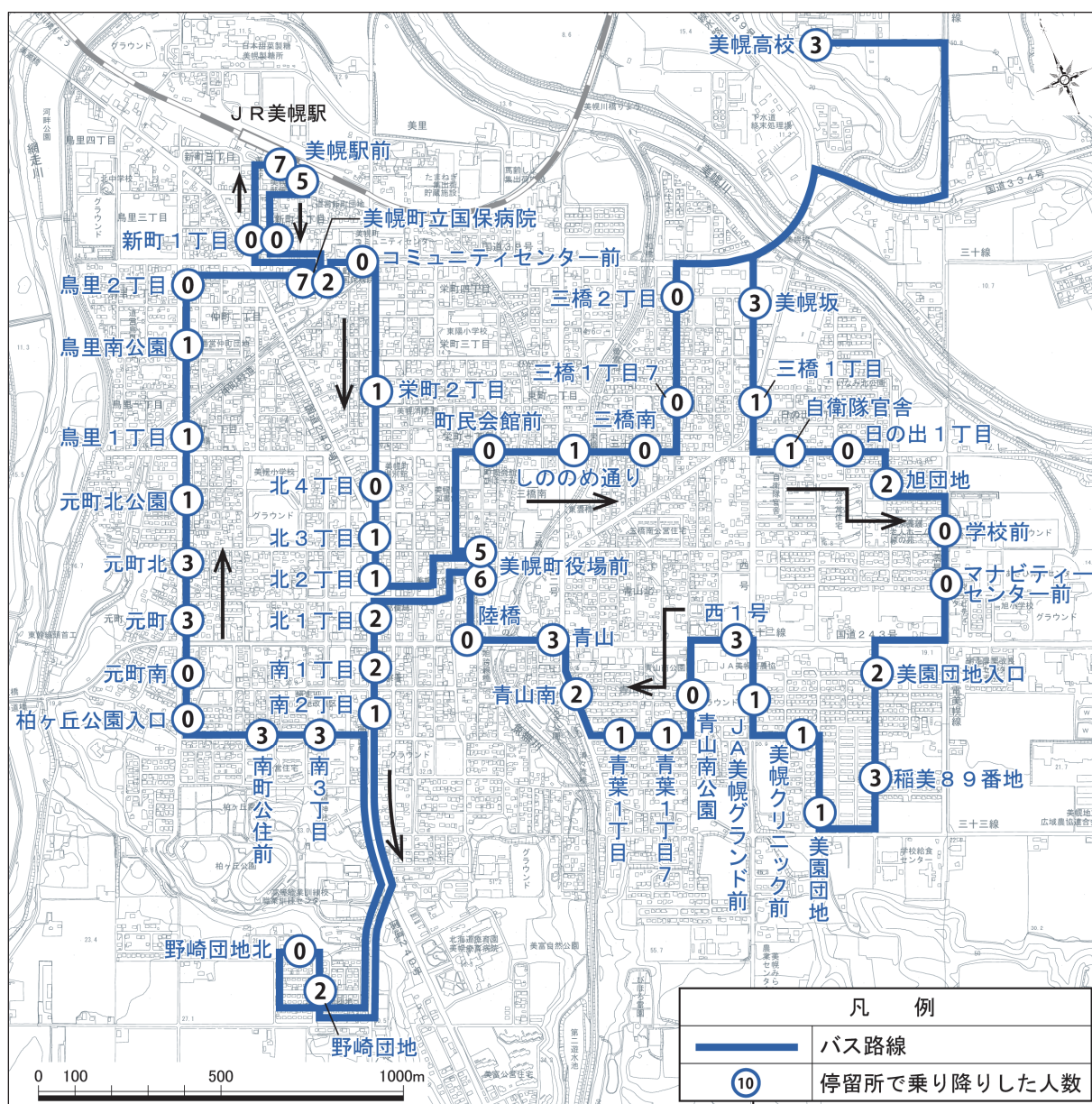


図 美幌循環線バス乗降調査（右回り）（乗降者数）

（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第7便（16:08）のみ

第5章 課題の整理

(2) 美幌循環線（左回り）

①乗車

調査日：令和2年9月30日（水）

天 候：曇り（第2便以降 晴れ）

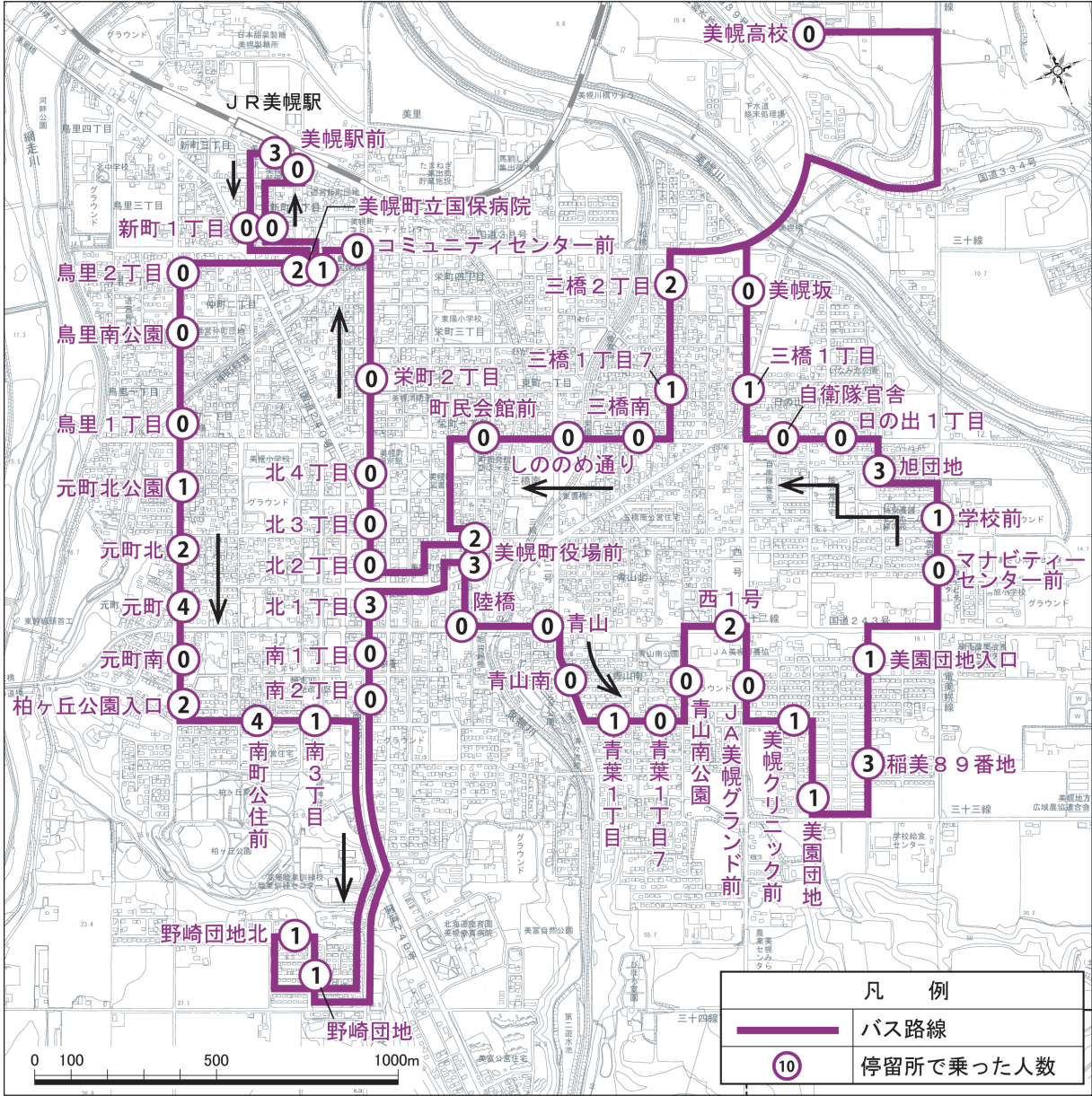


図 美幌循環線バス乗降調査（左回り）（乗車数）（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第1便（8:18）のみ

②降車

調査日：令和2年9月30日（水）

天 候：曇り（第2便以降 晴れ）

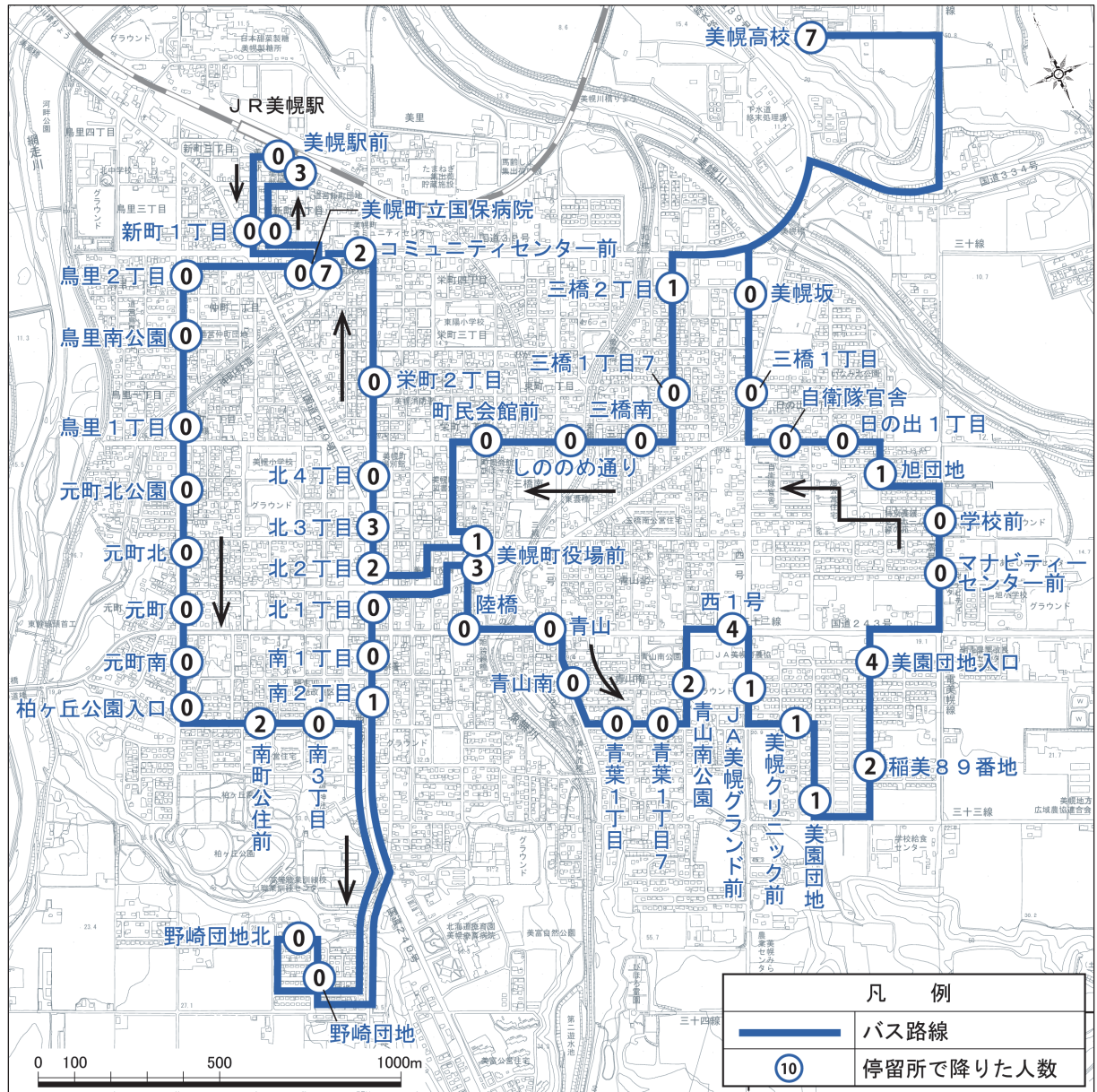


図 美幌循環線バス乗降調査（左回り）（降車数）

（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第1便（8:18）のみ

第5章 課題の整理

(3) 美幌循環線（右回り）

①乗車

調査日：令和2年10月6日（火）

天 候：晴れ（第6便以降 曇り）

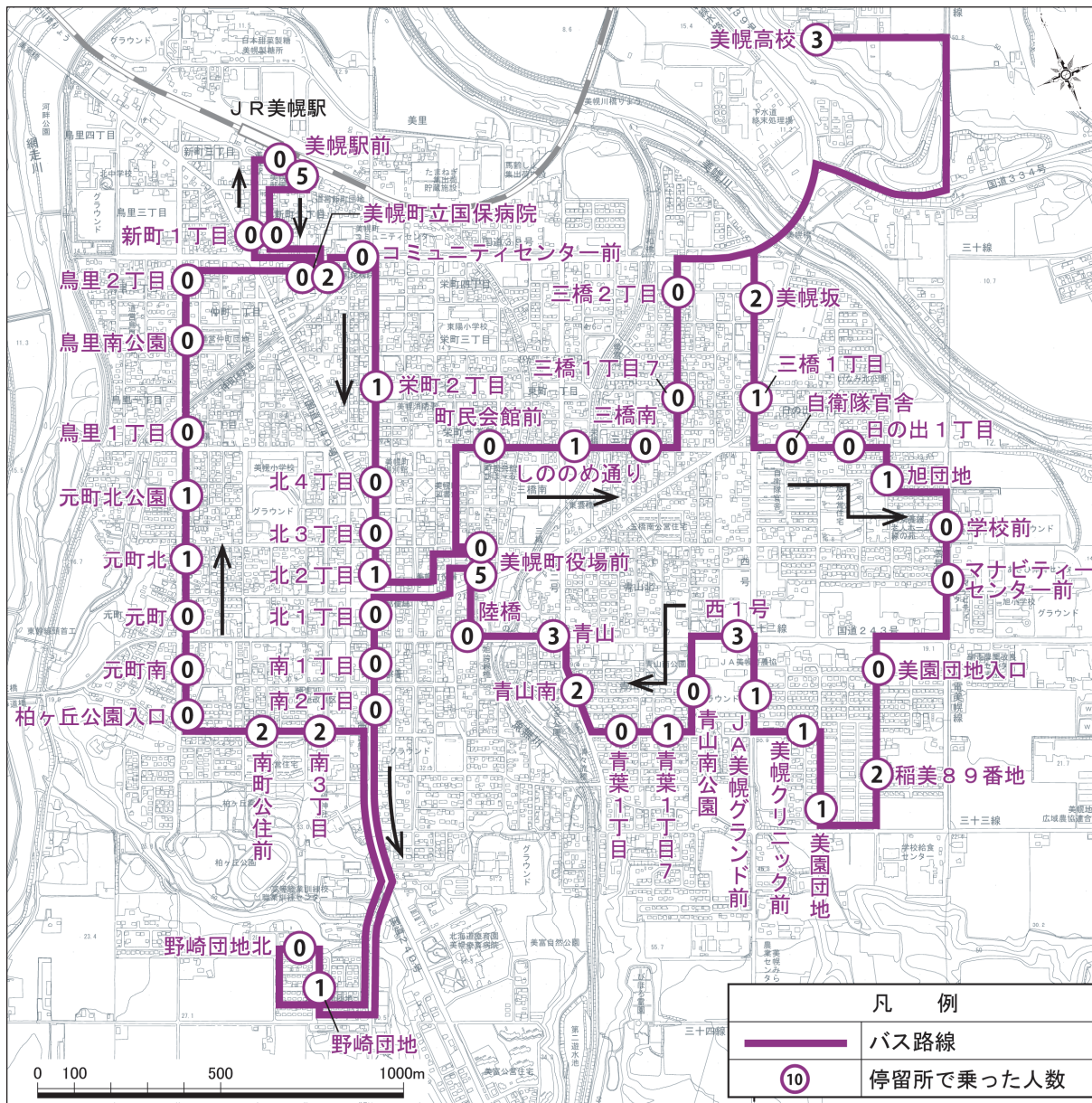


図 美幌循環線バス乗降調査（右回り）（乗車数）

（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第7便（16:08）のみ

②降車

調査日：令和2年10月6日（火）

天 候：晴れ（第6便以降 曇り）

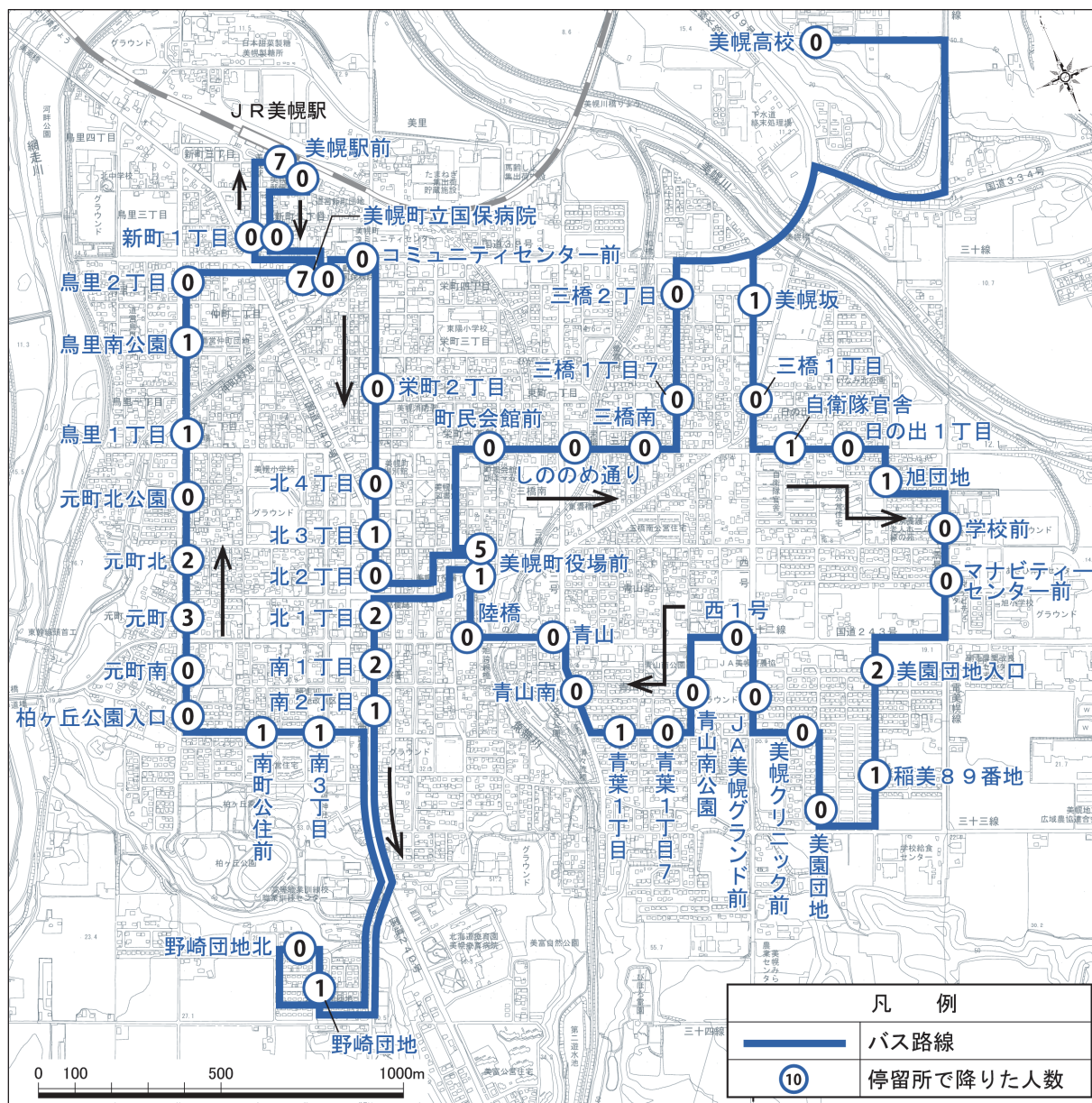


図 美幌循環線バス乗降調査（右回り）（降車数）

（単位：人／日）

※運行全7便中、野崎団地への運行は4便

※美幌高校停留所への運行は第7便（16:08）のみ

5-3 市街地交通の課題

町内を運行する市街地バス路線（循環バス、美幌高校線）は、平成28年度からスタートした高齢者等運転免許証自主返納制度もあって、乗客数は若干、増加傾向にあるものの、運行時間帯によっては乗客ゼロの運行もあります。

そのため、市街地交通の現状から課題を整理しました。

（１）目的地への交通手段としての課題

市街地バス路線の美幌循環線は、美幌駅前ターミナルを起点に、国保病院、美幌町役場など公共施設を經由、三橋町、稲美、青山南、青葉、元町などを運行しながら周回する循環路線となっており、運行はその循環路線を右回り、左回りほぼ同時時間帯の運行となっています。

町内にある大型商業施設（スーパーマーケット）は3店舗、いずれも「コミセン前」「西1号」「しのめ通り」停留所から徒歩5～6分で行くことができるものの、バス停の名称からイメージできないのか、利用者は多くありません。

医療機関については、「美幌町立国保病院」が、停留所の名称に用いられていますが、他の医療機関は、最寄りの停留所がはっきりしていない医療機関もあります。

町民にとって、最寄りのバス停名称がわかりづらい状況となっています。

（２）運行区域の拡大の課題

美幌循環線は、利便性は別として、市街地42自治会中、26自治会を運行していますが、運行区域の拡大の要望に対して、循環路線であるが故の難しさがあります。

そのため、狭隘な住宅街の道路を運行して、運行区域の拡大に努めているものの、国道39号、東雲通りなど幅員のある道路を運行区域に編入することができず、沿線の医療機関や大型商業施設への移動手段になっていない状況にあります。

（３）ＪＲとの接続の問題

ＪＲ美幌駅に到着する14便、ＪＲ美幌駅から出発する14便を検証すると、バスの到着時間から20分以内で接続している便は2便のみ、ＪＲの到着時間から20分以内で接続している便は4便しかありません。

ＪＲの利用者の多くは、北見市などの高校に通学する高校生です。

そのため、北見市の高校に通学する生徒が下校時に乗車するＪＲ普通列車と接続するバスが運行していないため、大変不便な状況となっております。

（４）運行時間帯における課題

美幌循環線は、午前7時台の始発から、ほぼ等間隔で一日各7便が運行しています。

しかし、朝、夕の乗車と比べ、日中の時間帯の乗車が少なく、乗客ゼロで運行するバスもあります。

その反面、17時以降に運行がないため、美幌高校生の課外活動後に乗車できるバス、北見市の高校に通学する生徒の帰宅するためのバスがありません。

平成30年1月に開催した高校生議会において、美幌高校生から課外活動後に乗車が可能なバスを運行してほしいとの要望もいただいております。

高校生などの乗車が見込まれる時間帯、利用者の利便性向上に結び付く時間帯での運行を考えていく必要があると思います。

（５）収支状況に対する課題

市街地を運行するバスは、乗車区間に関わらず、運賃を一律ワンコイン（100円）として、利用促進を図ってきましたが、利用が低迷し、運賃収入で運行経費の1割程度しか賄えず、補助金頼みの収支状況となっています。

そのため、引き続き、市街地バス路線を維持し、持続可能な公共交通網を構築していくためには、乗客の増加とあわせて、運行経費に占める運賃収入の割合を高めていく必要があります。

美幌町では、市街地を運行するバスの現状から、これまでに寄せられてきた意見や要望とともに課題を整理しました。

さらに、アンケート調査や自治会や交通事業者などとの意見交換、まちづくりミーティングなどを踏まえながら、地域公共交通計画の策定を行いました。

＜ワンポイント＞

（まちづくりミーティングとは）

元気で活力のあるまちづくりの推進を目的に、町長が町民のみなさまから広く意見を聴き、施策に反映させていく取り組みです。

ミーティングでは、町長、副町長、教育長が参加し、まちづくりのテーマを決めて意見交換等を実施します。